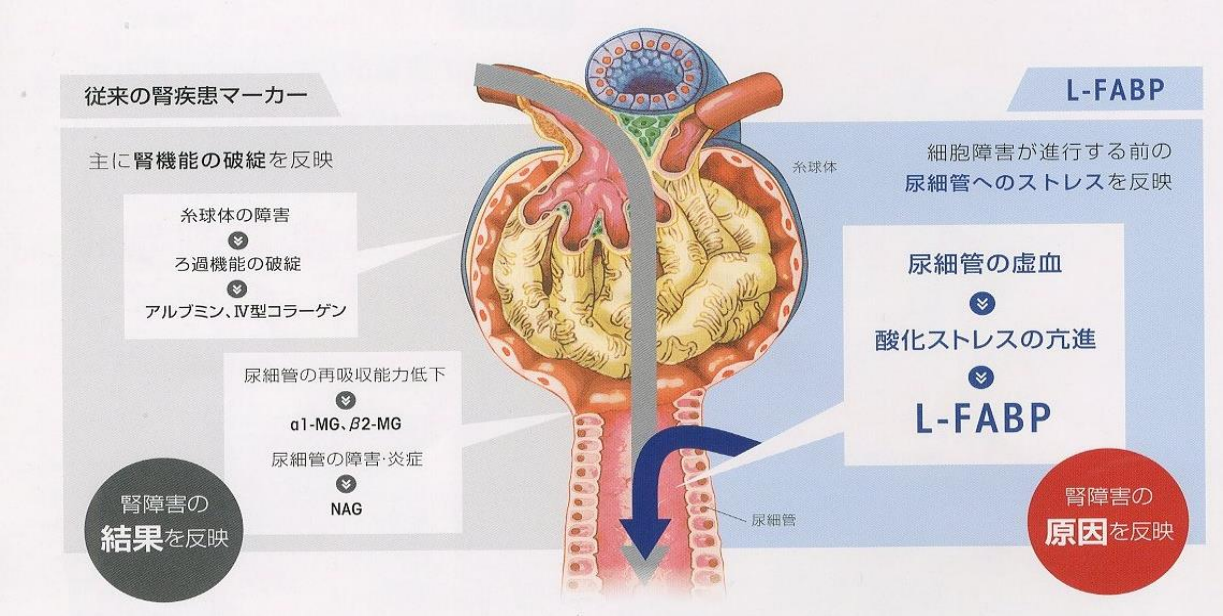
NO. 2015・50 号
発行日：2015 年 12 月 24 日

検査のパレット

今回は、先月お知らせに出しました、新しい検査項目**尿 L-FABP** について、簡単に説明させていただきます。

尿 L-FABP（ヒト L 型脂肪酸結合蛋白）は腎障害の高感度バイオマーカーです。
L-FABP は組織障害が進行する前に、尿細管の血流不全（虚血）や尿細管への酸化ストレスにより尿中に排泄されますので**「尿細管機能障害を伴う腎疾患の早期.診断」**に有用です。



以下の診断に有用です。
①急性腎障害（AKI）の発症予測
②糖尿病腎症の病期進行リスクの判別
③腎疾患のモニタリングや治療効果の判定
④造影剤腎症（CI-AKI）の発症を予測

※L-FABP は保険適応の検査（保険点数：210 点）
　検体　部分尿及び蓄尿　　正常値　8.4 以下（μg/gCr）

【算定上の留意点】
原則として 3 ヶ月に 1 回に限り算定する。但し、医学的な必要からそれ以上実施する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の適応欄に記載する。
○ 通常はレセプトに「尿細管機能障害の疑い」もしくは「尿細管機能障害を伴う腎疾患診断の補助」と記載して下さい。
○ 尿中微量アルブミンと L-FABP は同時算定可能

文責　弓場　富喜子　監修　石竹　久仁